

### 本格運行移行後の検討課題

2年間の実証運行を通じ、利用状況をはじめ把握できた事項もあるが、十分把握できなかった事項もある。こういった状況などから門前線、西畑線・有里線の2地区3路線を本格運行に移行した後においても、これら路線の継続的な運行のため、今後の公共交通の整備に資するために、以下の事項について引き続き検討を続ける必要があると考えられる。

- ・コミュニティバスに限らない、市域全体での公共交通水準の向上のための方策
- ・利用促進により発生している満員便への対応
- ・地域の頑張りにより利用が促進されているが、その状況が続くのかどうかを見極めるため、定期的な利用状況等の確認（1年ごとと想定）
- ・利用を促進するための運行時刻や運行経路の見直し